

エコアクション21 【環境活動レポート】

平成28年度版
(平成28年11月～平成29年10月)



株式会社リソースプラザ

発行日：平成29年12月20日

リソースプラザ環境方針

基本理念

リソースプラザは、零細企業ながら自分たちの出来る事を精一杯努力し、微力ながら地球温暖化対策、資源のリサイクルなど積極的に取り組み、地域社会への貢献、しいては豊かな社会づくりを意図とした事業活動を行う。

行動指針

- 1.紙のリサイクル品の回収の推進
- 2.地球温暖化対策の推進
- 3.廃棄物の削減と有効利用の推進
- 4.総排出水量の削減
- 5.グリーン購入の推進
- 6.従業員への環境教育
- 7.事業活動に関する環境関連法の厳守
- 8.地域及び事業所に於ける環境美化の推進



平成22年9月1日 制定
平成26年4月1日 改訂

株式会社リソースプラザ
代表取締役 田川洋子

1.組織の概要

1-1 事業所名及び代表者名

- ・事業所名 : 株式会社リソースプラザ
- ・代表者名 : 田川洋子(平成26年4月1日就任)
- ・法人設立年月 : 平成20年9月
- ・資本金 : 100万円

1-2 所在地

〒822-0031
福岡県直方市大字植木1140-1

1-3 環境管理責任者及び担当者連絡先

- ・環境管理責任者 : 田川 直孝
- ・担当者 : 永山 輝全
- ・連絡先 080-9067-1779
電話 : 0949-52-8900
FAX : 0949-22-5300
Email : t-nagayama@tsukumoshigen.co.jp
HP : <http://resource-plaza.jp/>

1-4 事業内容

- ・再生資源の卸売業
(古紙を回収し圧縮梱包後、製紙メーカーへ販売、
その他取扱い商品として、アルミ缶・スチール缶
なども回収し販売をしている。)

1-5 事業活動の規模

活動規模	単位	平成27年度	平成28年度
処理量	トン	11,458	12,489
売上高	千円	314,048	371,265
従業員	人	17(役員・パート含む)	26(役員・パート含む)
床面積	m ²	8,958	8,958

当社の事業年度 11月1日～翌年10月31日

(今回の活動レポート対象期間は、
平成28年11月1日～平成29年10月31日まで)

1-6 認証・登録範囲

- ・全組織・全活動・全従業員

2.情報公開事項の項目

2-1 許可の内容

【計量事業所】（福岡県）

許可の年月日	平成20年10月6日	許可番号	第281号
計量器の種類	電気抵抗線式秤		
能力	50t	目量	10kg
主任計量者	山本修三		

※許可の有効期限は特になし

【一般廃棄物処理施設】（福岡県）

許可の年月日	平成22年1月20日	許可番号	第67号
施設の種類	ごみ処理施設(圧縮・梱包施設)		
一般廃棄物の種類	紙くず		
処理能力	116.8t/日(8時間)		

※許可の有効期限は特になし

【廃棄物再生事業者登録】（福岡県）

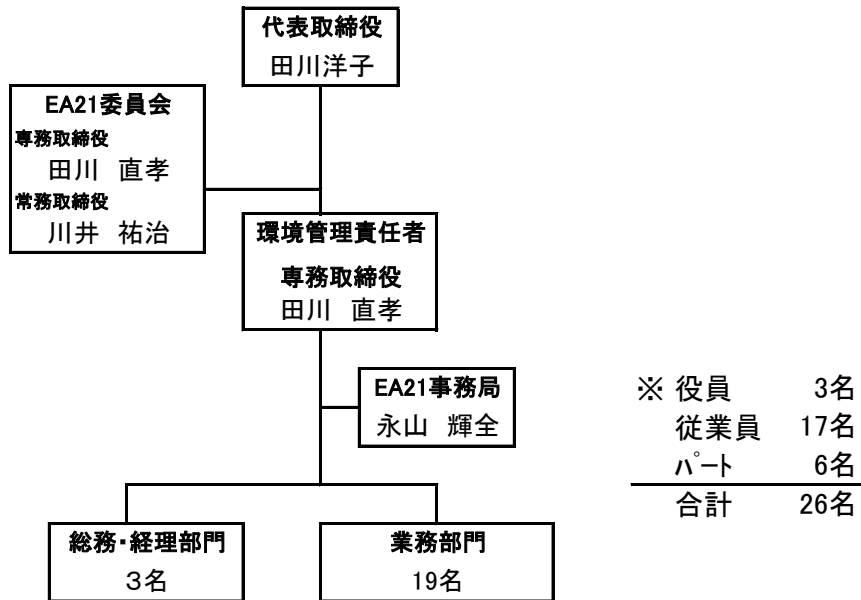
登録年月日	平成22年3月30日	許可番号	第103号
廃棄物の再生に係る事業の内容	古紙の再生(選別・梱包)		

※許可の有効期限は特になし

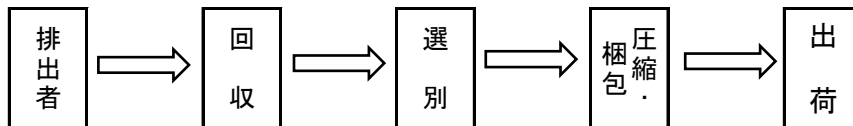
2-2 施設等の状況

- ・全敷地面積 8,957.92㎡(借地:4,330.00㎡ 自社:4,627.92㎡)
- ・塵芥車(4t) …… 5台
- ・塵芥車(3t) …… 1台
- ・大型車輛 …… 1台
- ・キャブオーバー(4t) …… 1台
- ・キャブオーバー(2t) …… 1台
- ・2t箱車 …… 1台
- ・フォークリフト …… 3台
- ・ラージペール(圧縮・梱包機) …… 1台
- ・ウエス圧縮機 …… 1台
- ・缶選別プレス機 …… 1台

2-3 組織図



2-4 処理工程図



2-5 処理実績

- ・平成28年度 収集運搬量 …… 12,489t
- 中間処理量 …… 12,489t

2.当年度及び中期環境目標

環境目標	単位	平成26年度 (実績) H26.11～H27.10	H27年度目標 (前年比0.5%減)	H28年度目標	H29年度目標
二酸化炭素排出量	Kg-CO ₂ / 百万円	562.5	559.7以下 (0.5%削減)	556.9以下 (1%削減)	554.1以下 (1.5%削減)
総排出水量(給水量)	m ³ / 百万円	0.65	0.65以下 (0.5%削減)	0.64以下 (1%削減)	0.64以下 (1.5%削減)
自社発生廃棄物	発生量/ 全仕入量	0.118%	0.117%以下 (0.5%削減)	0.117%以下 (1%削減)	0.116%以下 (1.5%削減)
グリーン購入の推進	G品目/全 品目×100	43%	43%以上 —	43%以上 —	44%以上 —
紙のリサイクル品の回収の推進			自治会・子供会 及び事業系へ 分別排出のお 願い	自治会・子供会 及び事業系へ 分別排出のお 願い	自治会・子供会 及び事業系へ 分別排出のお 願い
従業員への環境教育	回数	—	1回/月	1回/月	1回/月

3.主要な環境活動計画の内容

3-1.二酸化炭素排出量の削減

①電気使用量の削減(1%)

- ・昼休みの消灯 担当: 山本 修三
- ・残業時の不要な照明の消灯 担当: 山本 修三
- ・長時間席を離れる時、パソコンの電源OFF 担当: 木下 教代
- ・高効率蛍光灯、インバータ照明機器の導入 担当: 山本 修三
- ・不要電力消費抑制(不要な場合は機械STOP) 担当: 山本 修三

②灯油使用量の削減(1%)

- ・暖房温度の適正管理(事務所) 担当: 木下 教代

③ガソリン使用量の削減(1%)

- ・省エネドライブの励行 担当: 藤本 英彦
- ・アイドリングストップの励行 担当: 藤本 英彦

④軽油使用量削減(1%)

- ・省エネドライブの励行 担当: 藤本 英彦
- ・リフト運転と搬送方法の見直し 担当: 山本 修三
- ・アイドリングストップ手順を決め、実行する 担当: 藤本 英彦

3-2.総排出水量の削減(1%)

①水使用量の削減

- ・雨水の有効利用 担当: 山本 修三

②事務所における

- ・節水コマの検討と導入 担当: 山本 修三

3-3.自社発生廃棄物の削減(1%)

①禁忌品の削減

- ・回収時の禁忌品チェック 担当: 藤本 英彦
- ・持込み客へ禁忌品のお知らせ 担当: 原口友美

3-4.グリーン購入の推進(43%以上)

①グリーン購入の推進

- ・エコ商品の調査 担当: 木下 教代
- ・エコ商品への切替 担当: 木下 教代

4.環境目標の実績

・平成28年11月～平成29年10月(第10期)の目標に於ける実績は以下の通りであった。

項目	単位	平成26年度 (基準)	平成28年度 目標	平成28年度 実績	目標達成 の判定(%)
二酸化炭素排出量	Kg-CO ₂	232,206		316,065	
二酸化炭素排出量の削減	Kg-CO ₂ /百万円	562.5	556.9以下	851.31 <597.3>	65% <93%>
電気使用量の削減	Kw/百万円	237.19	234.82以下	266.63	88%
灯油使用量の削減	L/百万円	2.11	2.09以下	2.31	90%
ガソリン使用量の削減	L/百万円	5.37	5.32以下	3.82	139%
軽油使用量の削減	L/百万円	154.82	153.37以下	259.47 <161.7>	59% <95%>
総排出水量の削減	m ³ /百万円	0.65	0.64以下	0.65	98%
自社発生廃棄物の削減	発生量/全仕入量	0.118%	0.117%以下	0.223%	52%
紙のリサイクル品の回収の推進			自治会・子供会及び 事業系へ分別排出 のお願い	新規の自治会の取 得の為、現自治会 の方々へ紹介の呼び 掛けをした	新規取引の自治会・団体 2件
グリーン購入の推進	G品目/全品目×100	43%	43%以上	39%(30/76)	91%
従業員への環境教育	回数	1回/月	1回/月	1回/月	100%

※電力の排出係数は九州電力の平成26年度の実排出係数(0.584)を用いた
※〈 〉は、大型トラック使用分を除いて算出した場合の実績

5.環境活動の取組結果とその評価、次年度の取組内容

5-1 二酸化炭素排出量の削減(1%削減目標)

- 二酸化炭素排出量の削減は、総合的には目標に対して達成率は65%
今期は、ほとんどの項目が100%に達しておらず、なかでも軽油の
目標達成率は59%と未達幅が大きい状況となっています。
大型車両の運行開始が大きな影響を与えており、目標の見直しを検討します。
(大型車両使用分を除いて補正すると、達成率93%)

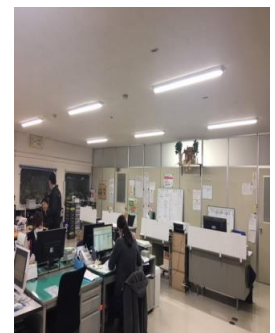
- ・電気使用量の削減:達成率・・・88%
電気使用量については、こまめに電気のスイッチを切る、エアコンの
温度管理、無駄な残業はしない、など基本的な行動を行った結果、
対前年は上回り、100%へ近づいています。
2017年11月より、エアコン、事務所内、工場内のLED化により
今年度は電気代節約へ再度強化します。

- ・灯油使用量の削減:達成率・・・90%
灯油の使用量については、前年より大幅に減り、
今年度は、エアコンを新しくして、灯油は使用せず、
エアコンを使用します。
今年度は、基本灯油ゼロになります。

- ・ガソリン使用量の削減:達成率・・・139%(達成)
ガソリンの使用量については、社用車をプリウスに代え、
ガソリンの使用料が大幅に減りました。



エアコン交換
20年前のエアコン廃棄



事務所内電球LEDへ

・軽油使用量の削減:達成率・・・59%(補正後 93.2%)

大型トラックの運行開始に伴い大幅に軽油使用量が増加したため、従来の目標に対する実績は上記のようになります。しかしながら、大型トラック使用分を除く従来の工程に対応する分に対する達成率は、約93%と、目標未達ながらその未達幅は軽微なものとなっています。

今後は、大型トラック事業と、従来事業それぞれに目標の再設定を検討したいと考えます。

5-2総排水量の削減 達成率・・・98%

総排水量については、効率のよい洗車方法などを従業員で情報共有し取り組みました。

あと一步のところまで目標達成には及びませんでした。引き続き目標達成に向け取り組んでまいります。

5-3自社発生廃棄物の削減 達成率・・・52%

自社廃棄物に関しては、達成率は前年度に比べ大幅ダウンしています。

廃プラの市況悪化から資源物としての売却が厳しくなり、廃棄物となっています。

排出事業者へ選別の強化を再度依頼致します。

5-4紙のリサイクル品の回収の推進

本年度は、新規の自治会及び団体回収の依頼は、2件ありました。

内容は、自治会2件です。

リサイクル活動が浸透してきているように思われます。

5-5グリーン購入の推進

グリーン購入に関しては、物品などの注文の際にカタログでチェックしながら、同じ機能の商品の場合は、グリーン購入適用商品をなるべく選んで注文していくようにしてきました。

今後も購入の際は意識して購入します。

5-6従業員への環境教育

従業員への環境教育については、毎月1回行う事で従業員の意識向上が図れ、目標達成となりました。今後もこの活動を継続します。



工場内電灯LEDへ

6.地域及び事業所に於ける環境美化の推進

・週に一度の『美化活動』として会社周辺のゴミ拾いの継続をしています。

ゴミは随分と減ってきているようですが、まだまだなくなりません。

7.環境関連法規法への違反、訴訟の有無

・当社の事業活動に適用されている環境関連法規について遵守状況を確認した結果、違反行為はありませんでした。

なお、関係当局より違反等及び他者からの訴訟等もありませんでした。

8.代表者による全体評価と見直しの結果

・今年度は、ほとんどの項目での達成が出来ていません。

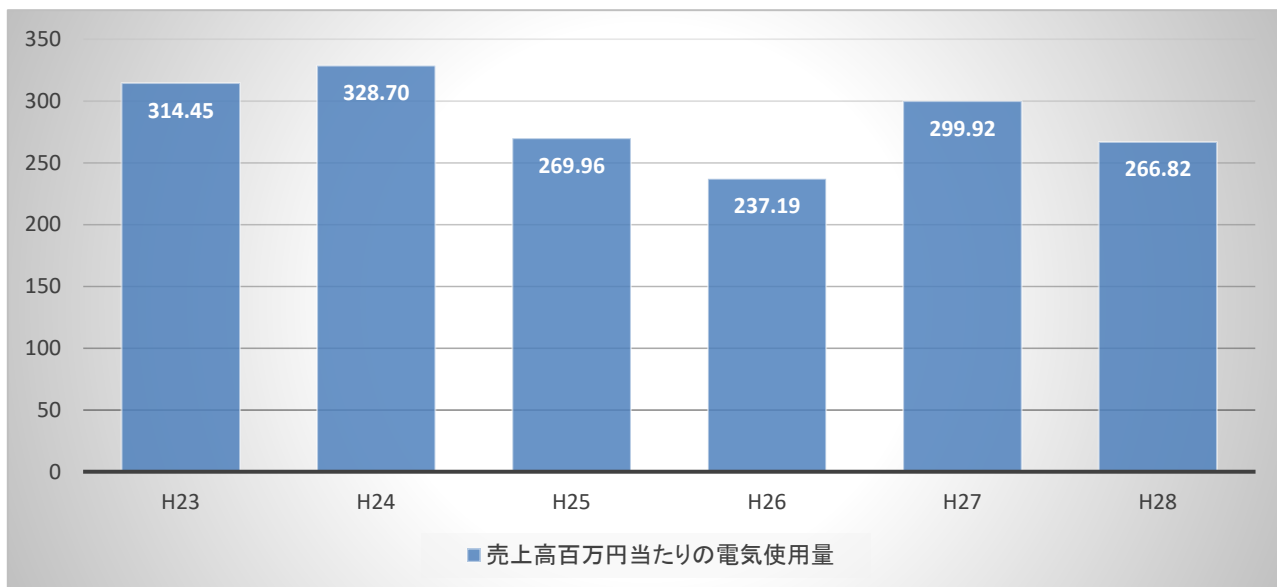
主な要因は、大型車両の運行開始による軽油使用量の増加となっています。

経営資源の有効活用によるものであり、目標修正を検討したいと思えます。

次年度は、従業員皆で更なるエコ活動に取り組んで、全項目達成を目指したいと思えます。

【電気】

	単位Kw	H23	H24	H25	H26	H27	H28
電気使用量	Kw	82,974	88,866	98,250	100,404	94,189	98,991
売上高	百万円	263.87	270.36	363.94	423.31	314.05	371
売上高百万円当たりの電気使用量		314.45	328.70	269.96	237.19	299.92	266.82



【軽油】

	単位L	H23	H24	H25	H26	H27	H28
軽油使用量	L	38,398.03	38,571.41	42,708.44	65,535.64	67,949.76	66,331.62
軽油使用量(大型)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	30,000.00
売上高	百万円	263.87	270.36	363.94	423.31	314.05	371
売上高百万円当たりの軽油使用量		145.52	142.67	117.35	154.82	216.36	178.79
大型車両軽油使用量/売上百万円		0	0	0	0	0	80.86

